

# “食”を通じて人々の生活に役立ち、信頼される企業であるために。



代表取締役会長  
**大戸武元**

代表取締役社長  
**浦聖光人**

## グループ価値の向上に向け、新体制を始動

私たちニチレイグループは、「暮らしを見つめ、人々に心の満足を提供する」ことを経営理念とし、人々の暮らしに本当に役立つ商品やサービスを創り出し、健康で心の豊かな生活の実現に貢献する企業グループとなることをめざしてまいりました。近年、生活者ニーズの高度化・多様化や、食品流通業界の再編、外資企業の国内参入など、当社グループを取り巻く環境は急速な変化を続けております。こうしたなか、ステークホルダー（お客様、株主・投資家、ビジネスパートナー、従業員、地域社会など）の皆様の信頼と期待に応え、力強い成長を続けるため、2004年度から3カ年の「中期経営計画」に基づいた事業運営を行っております。

2005年4月からは、「中期経営計画」に掲げた経営目標を確実に達成するために、事業領域を明確にした持株会社体制に移行し、グループ全体戦略を担う持株会社「ニチレイ」と、加工食品事業の「ニチレイフーズ」、水産・畜産事業の「ニチレイフレッシュ」、低温物流事業の「ニチレイロジグループ本社」、バイオサイエンス事業の「ニチレイバイオサイエンス」、並びにシェアードサービス事業の「ニチレイプロサーヴ」の5つの事業会社からなる新体制といたしました。大幅に権限を委譲された各事業会社は高い自立性の下、今まで以上に機動力ある組織として、「新しい顧客価値」の創造に取り組んでまいります。

さらに今回、「ニチレイグループ企業経営理念」に加えて、新たに「おいしさ」と「新鮮」をネットワークするという「ブランドステートメント」を制定いたしました。新体制移行後も当社グループとしてお客様に約束することや、ニチレイブランドに感じていただ

### 新中期経営計画の全体戦略

- 前中期経営計画である程度達成された「資本の効率的な使用」を意識しつつ、スリムで強靱な企業体質をベースに、事業の成長戦略を迅速に実施する。
- 事業戦略遂行の基盤となるグループ運営体制を確立する。
  - ①カンパニーの自立促進に向けた権限委譲と責任体制の確立
  - ②企業ブランド価値の向上と推進
  - ③ニチレイグループが果たすべき社会的責任の明確化と推進
  - ④グループ従業員が活き活きと働ける職場環境の整備

きたい価値を「ブランドステートメント」として改めて表明することにより、ステークホルダーの皆様とさらに強固な関係を築いていきたいと考えております。

## 企業の社会的責任を経営課題として

我が国においては、企業のCSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)への関心が高まっており、各社の取り組みが進んでおります。私たちニチレイグループでは、CSRは新しい経営概念ではなく、これまで「暗黙の了解知」だった企業経営の基本に、新しい光を当て直したものだとして捉えております。当社グループでも、以前より地球にやさしい取り組みや法令遵守といった基本的な企業行動の徹底はもとより、さまざまな社会貢献活動やIR活動を通じた情報の発信など、企業として社会的責任を果たすために鋭意取り組んでまいりましたが、2004年度よりCSRプロジェクトを発足し、ステークホルダーの視点から従来の取り組みを再検証し、課題抽出やその対応策を検討してまいりました。具体的には、①新たな顧客価値の創造、②働きがいの向上、③コンプライアンスの徹底、④コーポレートガバナンスの確立、⑤環境への配慮、⑥ニチレイらしい社会貢献の推進の6つの責任を定義し、「ニチレイらしさ」をキーワードにしたCSR経営の確立に取り組んでおります。

## 「新たな顧客価値の創造」と「働きがいの向上」

CSR経営の推進において最も重要なことは、「新たな顧客価値の創造」および「働きがいの向上」の追求を通して、社員一人ひとりが、経営参画意識を高めていくことにあります。当社グループでは新体制の下、コンパクトになった組織の機動力を活かし、これまで以上にお客様とのコミュニケーションを密にして、「新しい顧客価値」の創造に取り組んでいきます。

その大前提には、商品・サービスの開発や調達、生産、流通のすべての段階における安全・安心の追求があることは言うまでもありません。安全面においては、2003年度の商品自主回収を受けて、製品管理における課題抽出を行い、生産現場に携わる従業員の意識向上と、ISO認証取得などによる管理体制の確立、監理の強化という3つの側面から、品質の維持・向上に努めております。

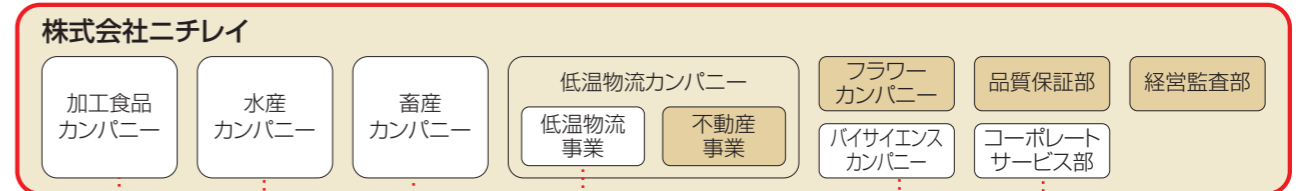
社員一人ひとりが経営参画意識を持って「新しい顧客価値」の創造に取り組み、そこに喜びと自信、生きがいを見いだせる企業

### ブランドステートメント

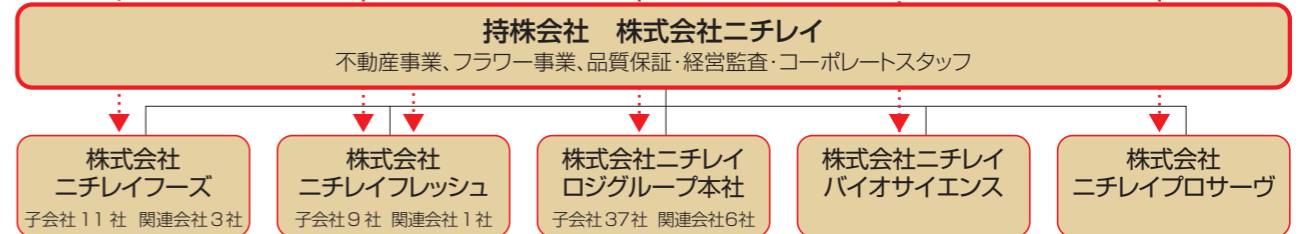
#### 「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。

ニチレイは、品質へのあくなきこだわりと、培われた技術、新しいアイデア、グループ全体のネットワークによって、新鮮で、健康なおいしさをお届けし、笑顔のあふれる食卓を創り出していきます。

### 2005年3月までのニチレイグループ体制



### 2005年4月からのニチレイグループ体制



“食”を通じて人々の生活に役立ち、信頼される企業であるために。

文化(体質)の確立に取り組むとともに、次世代育成支援対策推進法の行動計画に基づいた“ワークライフバランス(仕事と生活の両立)”への取り組みを進めることで、「従業員の働きがい」を追求してまいります。

「コンプライアンスの徹底」と「コーポレートガバナンスの確立」

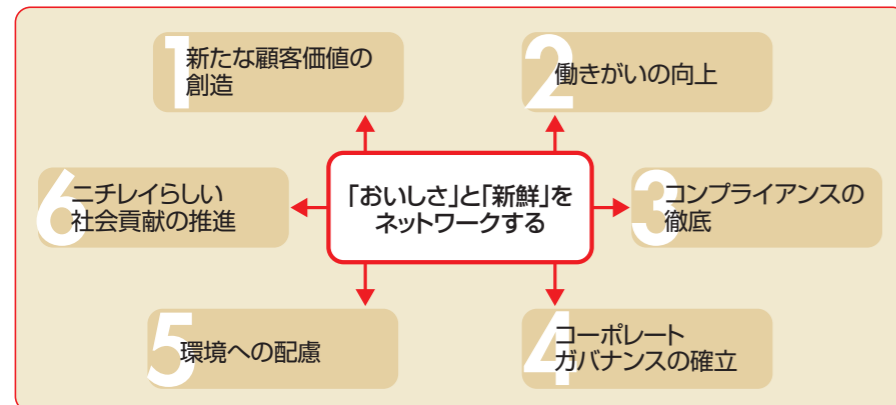
「コンプライアンスの徹底」においては、法務部門の強化などの施策や社員教育の実行に加えて、まずは社員一人ひとりが、「今日一日の仕事を胸を張って家族に話せる」ことを基本に、自信と責任感を持って業務に取り組むことで、コンプライアンス意識の維持・向上を実現してまいります。

「コーポレートガバナンスの確立」という視点からは、仕事・経営の基本としてのPDCA(Plan, Do, Check, Action)サイクルの実践を、全社的に徹底していくことを根本に、内部統制を強化すべく、セルフチェックと外部評価の両面から仕組みづくりを進めています。セルフチェックに関しては、経営監査グループによるグループ監査に加えて、持株会社内に事業経営支援グループを設置して、“身近な外部評価”としての機能を強化しました。同時にステークホルダーの皆様の声を真摯に受け止める企業風土、仕組みづくりを進めることで、より透明度の高い経営を実現してまいります。

社員/生活者の立場から「環境への配慮」を推進

「環境配慮」においては、これまで同様にあらゆる環境負荷のゼロ化をめざす「ゼロエミッション」を推進してまいります。加え

ニチレイグループ「6つの責任」



て、環境への配慮が国民一人ひとりの課題となっている今日、従来のように企業/従業員として環境配慮の取り組みを行うだけでなく、従業員一人ひとりが“生活者”という立場から環境配慮について知恵を絞り、当社グループとしてどのような環境配慮をできるかを考えることも求められております。

魚の骨をおいしく食べられるようにして地球資源の積極活用を実現した「骨まで丸ごと」シリーズや、物流の効率化で省エネルギーに貢献する低温物流事業における共同物流の提案など、各事業会社の製品・サービスの特徴を踏まえた“ニチレイらしい”環境負荷低減への取り組みを進めていきます。

“健康”を軸とした「ニチレイらしい社会貢献の推進」

「社会貢献」においては、“健康”をテーマにした活動を行うことで「ニチレイらしい」社会貢献のあり方を考えております。“健康”の維持を考えると、当社グループが提供する“食”とあわせて、“運動”も欠かすことができないとの認識から、「ニチレイチャレンジ」(日本水泳連盟の泳力測定)や、女子サッカー「日テレ・ベレーザ」のスポンサーなど、“運動”をキーワードに継続した取り組みを進めてまいります。

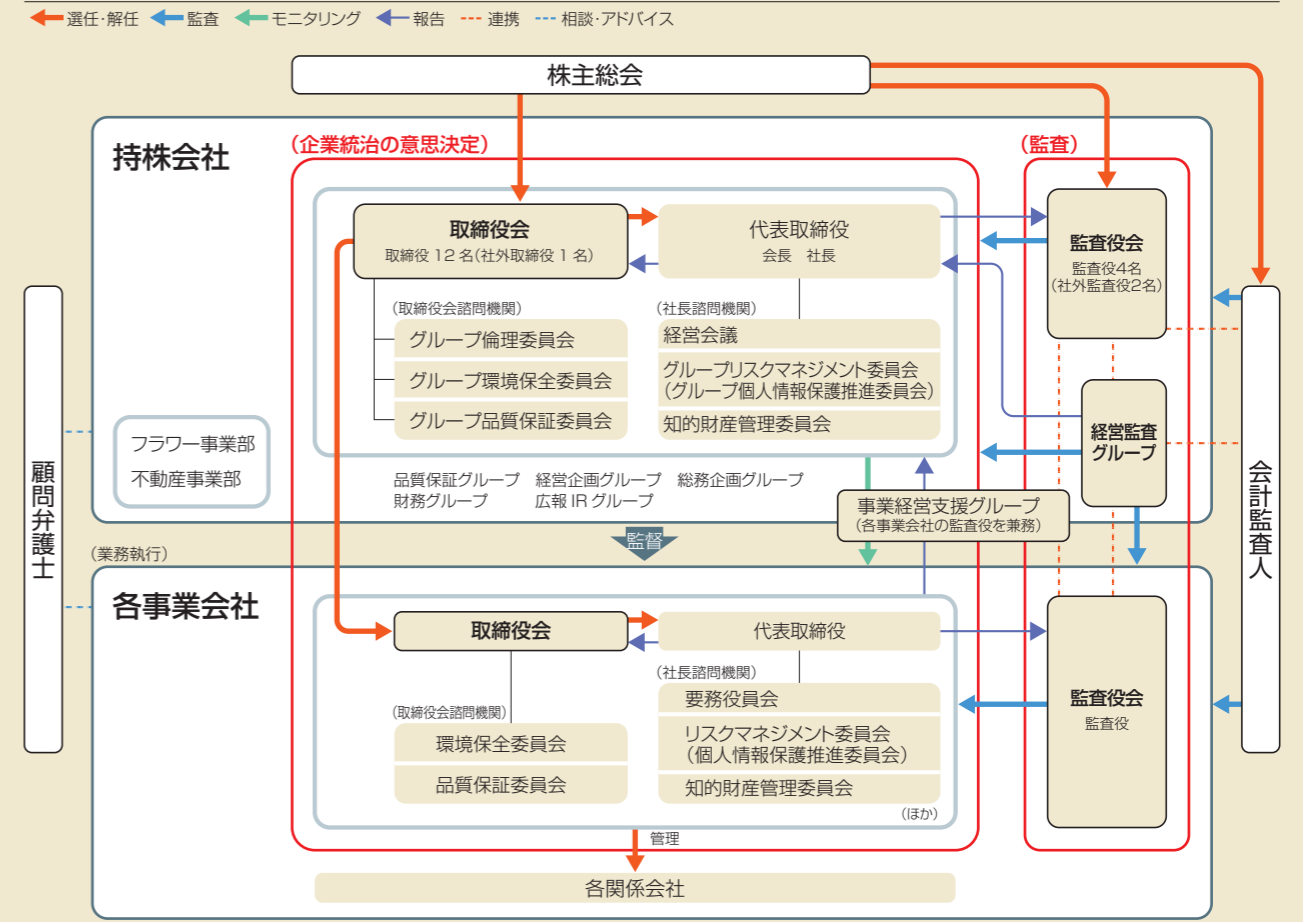
以上、申し上げてまいりました6つの責任における具体的活動およびその成果につきましては、本誌で詳しく報告しておりますので、ご一読いただけましたら幸いです。今回の報告書につきましては、従来の環境保全を主体とした「環境報告」から、環境保全も含む企業の社会的責任(CSR)という観点に立った「社会環境報告書」へと名称を変更し、CSR経営へ取り組む姿勢を

明確にしています。

私たちニチレイグループでは、今後も、お客様に満足していただける優れた品質と価値ある商品・サービスを創造・提供し、ステークホルダーの皆様から広く好感と信頼を寄せられる企業として、成長を続けてまいります。皆様の変わらぬご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

コーポレートガバナンス

(2005年4月1日現在)



※ 当社グループは、10 弁護士事務所と顧問契約を締結しており、重要事項をはじめとして適法性に関する事項を中心にアドバイスを受けております。

業務執行・経営の監視の仕組み

持株会社においては、社外取締役を増員するとともに、月1回以上の取締役会を開催することにより、経営監督機能の強化を図っています。また、両代表取締役は取締役会への業務執行状況報告とは別に、監査役会に対して定期的に業務執行状況を報告する機会を設けるなど、業務執行に対する監査役の監督機能を果たせる仕組みを構築しています。

また、持株会社内に各事業会社の経営進捗状況などをモニタリングする事業経営支援グループを新設。各メンバーは事業会社の監査役(非常勤)を兼務しており、各事業会社の経営進捗状況などをモニタリングし、その結果を毎月持株会社へ報告するほか、各事業会社に経営のサポートを行います。

経営監査部門

行動規範やコンプライアンスの徹底、リスクマネジメントの意識付けおよび検証・指導などを行うコンプライアンスチームのほか、ニチレイグループの事業施設を監査する設備監査チームを新たに設置しています。

各種グループ委員会

グループのガバナンスを有効に機能させるために、持株会社の取締役会および代表取締役社長の諮問機関として、それぞれグループ委員会を設置。これらの委員会は各事業会社にも設置しています。